

第7期北方領土隣接地域振興計画 実施計画

市 町 名	根室市
重点施策名	1 基幹産業の付加価値向上基盤の整備

1 目指す目標(長期目標)
<p>水産資源の維持増大対策により沿岸漁業の振興、漁業経営の体質強化を目指し、水産物の高品質・高付加価値化と、地域ブランド力の強化に努め、マーケットニーズに対応した商品を供給することにより、根室産水産物の需要拡大を図る。</p>

2 目標達成に必要な対象群の変化内容		
番号	変化や働きかけを行う対象群	必要な変化(維持する内容)
1	水産資源	ホッキ、アサリ、ウニ、ナマコ、ホタテ等の各種水産資源の種苗放流による資源の維持・増大を図るとともに、雑海藻駆除や有害生物等の駆除による資源の安定確保が図られる。
2	漁港、漁港施設	漁業生産活動や水産物流通加工の拠点となる漁港係留施設、外郭施設等の整備促進が図られる。
3	地域住民	地域の漁業者や住民が一体となり、自主自立の精神で漁港を中心とした地域作りに積極的に参加し、地域の振興が図られる。
4	根室産水産物、水産加工品	PR活動を推進するとともに、国内外のマーケットニーズに対応した価値の高い商品づくりを積極的に推進し、販路の拡大が図られる。
5		

3 2の変化(維持)を実現するためのプロセス(工程表)				
番号	実施する内容	実施主体	実施期間	実施による到達レベル
1	ホッキ、アサリ、ウニ、ナマコ、ホタテ等の各種水産資源の種苗放流による資源の維持・増大。雑海藻駆除や有害生物等の駆除により資源の安定確保	市、漁協	H26～H30	漁家経営が魚価変動に影響されることなく安定的に営むことが可能となる資源量の安定確保(S43年水揚量)
2	水産基盤整備事業(落石漁港、齒舞漁港) 水産基盤整備事業(幌茂尻漁港、友知漁港)	国、道	～H30	整備箇所の完成
3	地域マリンビジョンの推進(水産教室の開催、漁船等を利用した遊覧船運行事業、ゴミ拾いや桜植樹を通じた地域景観作り、地域ブランドの確立、減災計画の策定等)	協議会、漁協	終期設定なし	地域マリンビジョンの達成
4	根室産水産物、水産加工品の普及PR活動、根室ブランドの確立	市、協議会、協賛会、実行委員会	終期設定なし	「根室産」水産物の知名度向上(第7期計画開始時点)
5	水産加工業における経営安定化対策、水産加工技術の高度化	市	終期設定なし	水産加工品出荷額の増加(H24年)
6				
7				
8				

第7期北方領土隣接地域振興計画 実施計画

市 町 名	根室市
重 点 施 策 名	1 基幹産業の付加価値向上基盤整備

1 目標達成に向けた内的外的な課題及び現状認識		
内部環境 (市町及び 地域の関係 者の経営資 源)	強み	立地・気候条件、特産物・生産物、人材、社会資本、地域資源、知名度など 全国でも有数の水揚げ高があり、地元でも原料の調達が比較的容易である。 水産加工場が集積しており、加工技術の高い企業も比較的多い。
	弱み	大消費地から離れており、商品の輸送面でのハンディが大きい。 高齢化が進んでおり、働き手の確保が年々難しくなっている。
外部環境 (市町を取り 巻く環境)	機会	経済情勢、技術革新、法令、社会環境、文化・流行、国際情勢など 北方領土問題の解決により豊富な水産資源を有効に活用できる可能性がある。 アジア地域の経済発展に伴い、北海道産の質の高い水産物の需要が高まる可能性がある。
	脅威	主要魚種の資源量が不安定で、漁獲量、単価の変動に伴い、経営が大きく左右される。 国外加工による安値な加工食品と比較して、国内加工品は価格競争力が低い商品が多い。

2 参考とする指標
<ul style="list-style-type: none"> ・水揚量: 201,909t(S43年) ・加工品出荷額: 45,770,090千円(H26年)

3 民間が実施主体の場合に市町が行う取組促進の内容
財政支援、情報提供、事務のサポート、実施事業への参加等